

2013年 4月 24日

各 位

教育研究所所長 今田 晃一
研修部主任 加藤 純一

『教育研究所 紀要』第22号の論文募集について

下記のとおり、『教育研究所 紀要』第22号の論文を募ります。ご希望の方は、寄稿申込書（所定、添付）にてお申込みください。なお、特集テーマに関する論文は、テーマとの整合性について、論文概要を検討させていただき、執筆の可否を決定いたします。

記

1. 募集内容

(1) 特集に関する論文

- ① 特集テーマ 「週6日制」への回帰の是非をめぐって
- ② 執筆分量 15,000字以内
- ③ 趣旨

公立小・中・高等学校の学校週6日制復活について、文部科学省の検討チームの初会合が開かれ（2013.3.18）、「総合的な学習」や「道徳」の授業を土曜に回すことで、平日の教科学習を充実させる案を軸に実現をめざすことになった。下村博文文科相の発言によれば、学力向上のねらいがあり、「世論の理解はある」としている。

保護者にとっても賛成の意見がある一方、土曜日に子どもを送り出す負担も復活することは確かである。今まで校外活動を支えてきた地域の教育支援にも目を向け、教育と地域の在り方をどうするかという観点からも考えるべきである。

また土曜授業となれば、教員の労働条件という観点からの見直しも必要になるであろうし、教員を増員しようにも、財源などの問題が絡むだけに容易なことではない。学力問題だけでなく、多様な観点から十分に検討を尽くすべき問題である。

そこで今回の特集では、「『週6日制』への回帰の是非をめぐって」に関する論文を募集することとした。様々な立場、視点からの多角的・積極的な論考を期待したい。

(2) 自由研究、教育実践研究、他

執筆分量

原著論文・実践研究：15,000字以内（頁の書式は20字×40行×2段）

その他：10,000字以内（頁の書式は同上）

2. 申込締切日 2013年5月13日（月）厳守
3. 原稿締切日 2013年9月28日（土）厳守
4. 投稿申込先 教育研究所（内線2620）

以上

「教育研究所紀要」寄稿規定

1. 本誌に寄稿できるのは原則として本学の専任教員、教育研究所研究員に限るが、教育研究所会議において特に必要と認めた場合には、前述以外にも寄稿を許可することができる。
2. 本誌は特集、自由研究、教育実践研究の3つの領域から構成される。また、寄稿の種別は総説、原著論文、実践研究、その他（研究ノート、実践報告、研究資料、書評、新刊紹介、評論、内外の動向など）とし、未発表のオリジナルで完結したものに限る。
3. 原稿の採否、掲載の時期、掲載順序は教育研究所会議で決定する。
4. 教育研究所会議は、寄稿された論文の領域（特集、自由研究、教育実践研究）や種別の変更、内容や字句等の訂正または検討を執筆者に求めることがある。
5. 本誌に掲載した原稿は返却しない。
6. 原稿は原則としてワードプロセッサ黒印字横書きとし、文字は楷書、文体は「である」体で書くこと。提出時には、200字程度の要旨（総説、原著論文、実践研究のみ、その他は必要なし）、和英両文の題目、執筆者名、所属、所属所在地などを記した「原稿送付状」を添付すること。
7. 執筆分量は執筆要領に準ずる。

附則

この寄稿規定は平成24年4月1日から適用する。